人と自然の共有財産

陶器山

あまの街道と陶器山の自然を守る会

ホームページ：陶器山自然観察クラブ
(URL:http://www.toukiyama2015.jp/)

あまの街道今昔

2012.3.30南第三小学校

2016.12.12南第三小学校

2012.3.30あまの公園付近

2016.12.12あまの公園付近

陶器山の生き物

タヌキ

ノウサギ

ノウサギ

イタチ

イタチ

シュレーゲルアオガエル

トノサマガエル

ニホントカゲ

ニホンカナヘビ

ヤマアカガエル

ヤモリ

ｺｼﾞｭｹｲ

ｱﾄﾘ

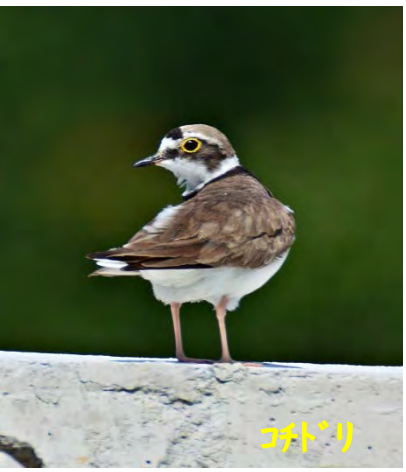
ﾎﾄﾄｷﾞｽ

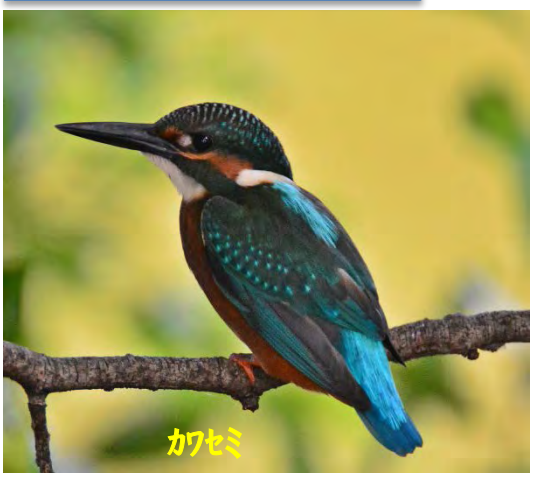
ﾄﾗﾂｸﾞﾐ

ｵｼﾄﾞﾘ

ﾋﾚﾝｼﾞｬｸ

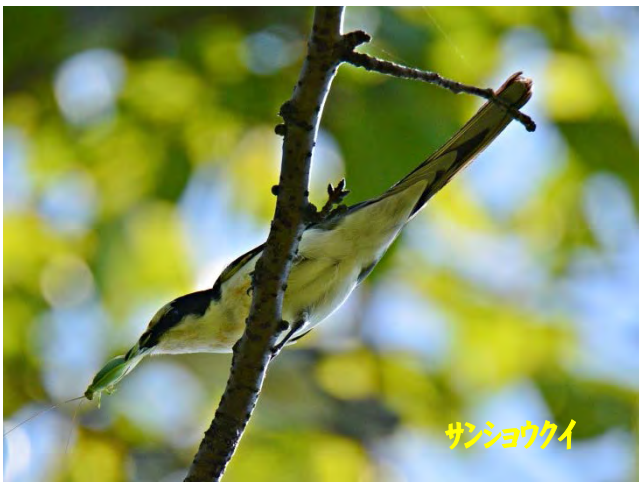
鳥　８５種


ｺﾁﾄﾞﾘ


ｶﾜｾﾐ

ｷﾋﾞﾀｷ

ﾏﾋﾜ


ｻﾝｼｮｳｸｲ

ﾙﾘﾋﾞﾀｷ

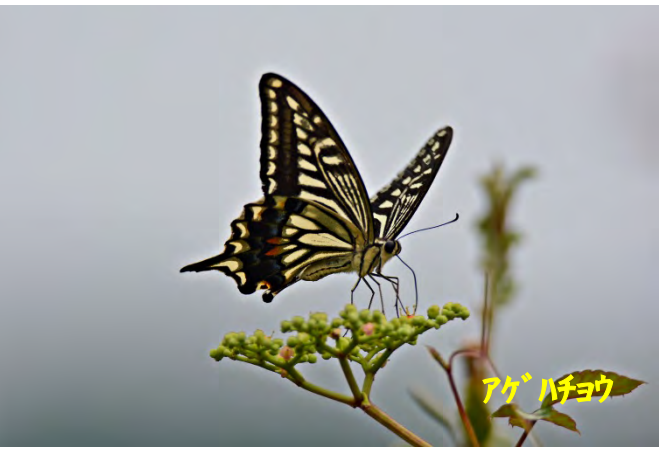
ｱｻｷﾞﾏﾀﾞﾗ

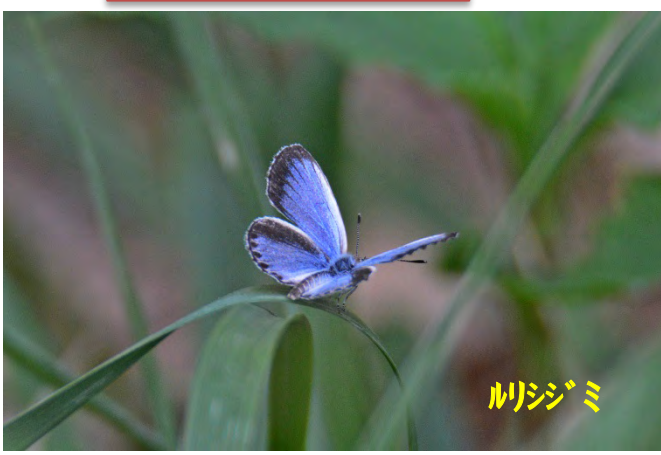
ﾓﾝｷｱｹﾞﾊ

ﾅｶﾞｻｷｱｹﾞﾊ

ｸﾛｱｹﾞﾊ

蝶　４３種


ｱｹﾞﾊﾁｮｳ


ﾙﾘｼｼﾞﾐ

ｱｵｽｼﾞｱｹﾞﾊ

ﾍﾞﾆｼｼﾞﾐ

蜻蛉　２７種

オニヤンマ

ヤブヤンマ

オオヤマトンボ

アオイトトンボ

リスアカネ

チョウトンボ

ウスバキトンボ

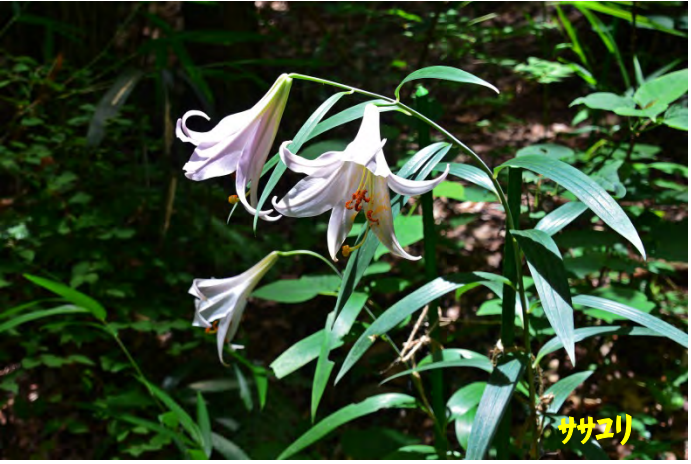
シオカラトンボ

カトリヤンマ

ギンヤンマ

カマキリｖｓアブラゼミ

オオスカシバ


ササユリ

ショウジョウバカマ

ネムノキ

シャガ

シュンラン

ギンラン

キンラン

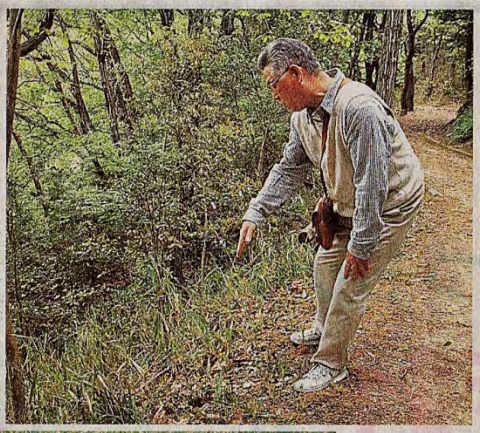
キンラン

朝日新聞 第3種郵便物認可

春蘭 盗まないで!!

2年連続 絶滅の危機

陶器山



春蘭の盗掘現場を見る大原三郎さん＝堺市南区

ちぎられて盗掘された跡の中で花を咲かせた春蘭＝5日、大阪狭山市、森山達也さん撮影

堺市と大阪狭山市の境にある陶器山で、春の訪れを告げるラン科の植物「春蘭」が2年続けて計30株以上盗掘された。毎年、数えるほどしか花が咲かず、根こそぎ取られると群生地が絶滅しかねない。危機感を抱いた地元のグループが看板を立て、採取をやめるよう呼びかけている。

標高149㍍の陶器山は、すぐふもとまでニュータウンの住宅やマンションがある丘陵だ。両市の境には車1台分の幅しかない大阪狭山市道があって散策をする人が多く、地元住民の憩いの場となっている。

陶器山で動植物の観察などをする「あまの街道と陶器山の自然を守る会」（窪田由紀代表、約20人）によると、今年3月26日に市道沿いの大阪狭山市側斜面に約10株の春蘭の開花を確認した。4月2日に再び現地を訪れると、小型スコップのようなもので株ごと掘り出された跡があった。近くには春蘭の葉がちぎれていたものもあり、株ごと引き抜こうとしたとみられる。

昨年春にも市道の堺市側斜面で約20株の春蘭が開花したが、大型スコップのようなもので盗掘された。昨年は開花時期がバラバラだったが、花が咲くたびに盗掘されたという。

守る会のメンバーの大原三郎さん(70)＝大阪狭山市＝は「歩道沿いの草花はみんなで楽しむもの。根こそぎ持っていくと自生地が全滅してしまうことを、強く自覚してほしい」と呼びかけていた。（村上潤治）

愛好家のモラル 訴え

大阪狭山市のマスコットキャラクター「さやりん」が呼びかける看板＝大阪狭山市

陶器山は堺市側の泉ケ丘緑地が公園で、大阪狭山市側も一部が公園に指定されており、両市とも条例で園内の植物採取を禁じている。守る会では、人通りがない夜などの時間帯に盗掘されたとみている。

雑木林などに植生する春蘭は、黄緑色の花を咲かせる小さいラン科の植物。観賞用として各地に愛好家がおり、品評会なども開かれている。株を分けて増やすため、それが盗掘につながっていると関係者はみている。

守る会は今年4月、自生地付近に「根付きの草木は持ち出さない」などと書かれた大阪狭山市作成の看板を数カ所立てた。「花の場所を知らせてしまう」と心配する声もあったが、他に有効策はない。愛好家のモラルに訴えることにした。

陶器山は春蘭の群生地だったが、ここ数年は数えるほどしか確認できていない。かつては絶滅危惧種のラン科「キンラン」も自生していたが、盗掘などで今はほぼ姿を消したという。

オオオニテングタケ

アミヒラタケ

アカヤマドリタケ

カバイロツルタケ

スッポンダケ

作業風景

冬　落ち葉整理

春　植物養生

秋　倒木整理

リフレッシュ

天野街道

ピクニック

2014/11/16

前列右より:大原　起田　小西　小谷　中山　島内
後列　　:森山

2015.5.1岩湧山

河南町へ柿採り

2015.10.29

メンバー：窪田、起田、小谷、島内、大原、森山

2016.4.2陶器山で花見

2016.8.5カラスウリ花見ツアー

イベント

狭山池博物館写真展

2014.3.14～3.30

2014/3/13

2014/9/27

陶器山探索

メンバー：起田　小谷　小西　古田　中山　島内　大原　森山　塚本
解説　　：大原　古田
記録　　：中山
撮影　　：森山

今熊市民の森植樹祭

2015年3月14日

主　催　今熊市民の森保全会議

あまの街道と陶器山の自然を守る会

大阪狭山まちづく研究会（環境部会）・大阪狭山市市民活動支援センター

さやか観光会・ 第三中学校区円卓会議 ・ ＮＰＯ法人南中学校区円卓会議

大阪狭山市

協　賛　大阪狭山造園緑化協会

2015.4.4

自然観察会

メンバー：神内（朝日新聞）、花岡（さやか観光会）、大黒、起田、小西、中山、
田中、岡本、大原、森山・・・・・・・順不同

キノコ観察会

2015年7月4日

メンバー：大原（チーフ）、起田、島内、岡本、向井、森山

南中円卓会議　カフェみらい写真展

2015.8.20～12.18

講演会と窯跡見学のご案内

陶器山に古代文化のロマンを探る

和泉陶邑（すえむら）の成立と展開

この地域に須恵器の生産が開始された歴史とその背景を考え、須恵器がいかに全国に広がっていったか？また、陶器山周辺の生産がどのようなものであったか？さらにその生産の終末ころの陶器山の歴史について学びます。窯跡見学は市教育委員会学芸員に協力いただきます。

日　時：平成27年9月26日（土）　受　付：9時半～

講演会：10時～11時　終了後窯跡見学　（希望者のみ）

講　師：中村　浩 氏（考古学者、龍泉寺住職中村浩道氏）

会　場：市立コミュニティセンター 4階 大会議室

定　員：100名　　参加費：無料

申　込：FAX 072－367－8397　（申込書は裏面）

メール　HP「陶器山自然観察クラブ」
http://www.toukiyama2015.jp
「お問合せ」から送信してください

※FAXまたはメールで　9月18日（金）までに、お申し込みください。

問合せ：☎ 072－367－8297　今熊市民の森保全会議 窪田（19:00～21:00）

主催:今熊市民の森保全会議　後援:大阪狭山市教育委員会

講演会模様　参加者53名

窯跡見学会　参加者27名

写真でつづる
あまの街道と陶器山の自然

2015.11.26～28　　大阪狭山市立公民館

スタッフ

ユキさん、オハルさん、ヒロコさん、カズコさん、マダムオカモト、
ナカヤマさんち（2人）、ムーさん、サブローさん、タッチャン

あまの公園で遊ぼう！

２０１６年３月１２日　バザー

あまの街道と陶器山の自然を守る会

バザー風景

岩室フリーマーケット2016.3.21

2016.10.8 キノコ観察会

広報

陶器山トンネルの上に設置の掲示板

掲示板の写真は毎週更新

掲載内容：作業報告、生き物、花、風景、トピックス等

陶器山自然観察クラブ

大阪狭山市と堺市の境界に位置する「自然のオアシス陶器山丘陵」を愛好するサークルです。
会員募集中！

陶器山ニュース | 観察記録 | サークル紹介 | 入会方法 | リンク集 | 鳥 | 蝶・蜻蛉・昆虫 | 花・植物 | 管理人の部屋

新着情報

2016.11.18	大鳥池の太陽光パネル設置工事はほぼ完了。陶器山ニュース2016.11.1～へ
2016.11.18	メインはジョウビタキの雄と雌による縄張り争い。観察記録2016.11.3～へ
2016.11.15	11月1日の観察記録を追加しました。観察記録2016.11.3～へ
2016.11.13	太陽光パネルの設置状況を調査。陶器山ニュース2016.11.1 ～へ
2016.11.12	10月分の最終観察。観察記録2016.11.3～へ
2016.11.12	ナラ枯れ対策を行いました。陶器山ニュース2016.11.1～へ
2016.11.09	観察記録を更新しました、鳥が主体です。観察記録2016.11.3～へ
2016.11.06	メイン画像をサンショウクイからヤマガラに変更しました。

入会ご希望の方はお気軽に！

自然が好きな方大歓迎！です。サークルの平均年齢は？？、みんな楽しみながら活動しています。
（7月～9月休憩）

まずは気軽に一度遊びに来てみませんか？
希望の方は、以下の問い合わせフォームよりご連絡をお願いします。

笹刈り

作業後の休憩

落ち葉整理

落ち葉整理

自然に関することは、陶器山ニュースへ。
生き物・花・植物などは、観察記録へ。
管理人の旅物語は、管理人の部屋へ

→ お問い合わせ | ↑ ページの先頭へ

携帯サイトについて

携帯のバーコードリーダーでQRコードを読み取ることで、携帯版ホームページへアクセスできます。

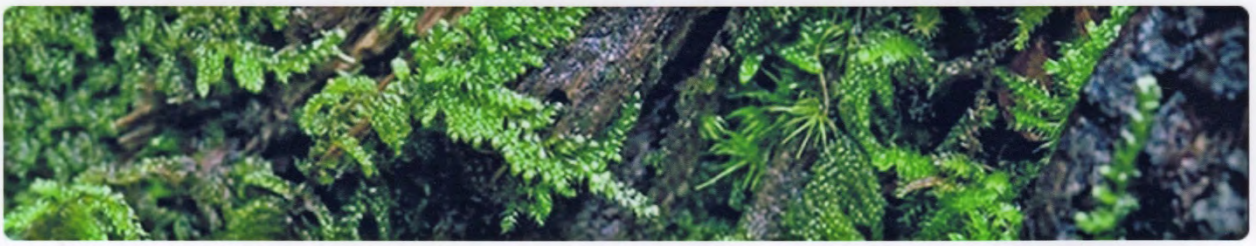
陶器山自然観察クラブ

→ お問い合わせ
→ 地図・アクセス
→ 私たちについて

copyright © 陶器山自然観察クラブ some rights reserved.

陶器山の自然　植物編

あまの街道に泉北ニュータウンと狭山ニュータウンを分けている陶器山、に生息する植物に関するサイトです。



ウェブサイト「陶器山の自然　植物編」へようこそ!

陶器山ではコナラが主流をしめています。
コナラやクヌギは雑木林の主役である。多くの昆虫が葉を食べ樹液に集まる。落ち葉はキノコや微生物によって分解され腐葉土となる。かつてコナラ・クヌギは薪炭材として、落ち葉は腐葉土として利用されていた。林床植物もたくさん生えていた。このようにして暗い林になるのを防いだのである。
今の陶器山は人手が入らなくなったため、常緑樹がはびこり暗い林になってきています。林床植物も少なくなり、かつてはカタクリも咲いていたそうです。今もショウジョウバカマやシュンラン、そしてキンラン・ギンラン等が咲いています。ぜひ手入れをして残したいものです。

引用元文献

山渓ハンディ図鑑「樹に咲く花」（1～3）　山と渓谷社
山渓ハンディ図鑑「野に咲く花」　山と渓谷社
山渓カラー名鑑「日本の樹木」　山と渓谷社
山渓カラー名鑑「日本の野草」　山と渓谷社
山渓フィールドブックス「しだ・こけ」　山と渓谷社
フィールド図鑑「コケ」　東海大学出版社
「日本の野生植物」木本（I～II）　平凡社
「日本の野生植物」シダ　平凡社
週刊朝日百科「植物の世界」（1～144）　朝日新聞社
検索入門「野草図鑑」（1～6）　保育社
検索入門「しだの図鑑」　保育社

最近のブログ記事

ヒメジョオン<姫女苑>
…
saburo | コメント(0)

オオユウガギク<大柚香菊>
…
saburo | コメント(0)

カラスウリ<烏瓜>　（別名　タマズサ<玉章>）
…
saburo | コメント(0)

科目別

- アオギリ科 (1)
- アカザ科 (1)
- アカネ科 (4)
- アカバナ科 (2)
- アケビ科 (2)
- アブラナ科 (3)
- アヤメ科 (2)
- イグサ科 (2)
- イネ科 (21)
- イノモトソウ科 (2)
- イラクサ科 (1)
- イワヒバ科 (1)
- ウコギ科 (5)
- ウメノキゴケ科 (2)
- ウラジロ科 (2)
- ウラボシ科 (1)
- ウリ科 (2)
- ウルシ科 (4)
- エゴノキ科 (1)

POWERED BY MOVABLE TYPE

陶器山の自然　きのこ編　科目：ア行～カ行

あまの街道に泉北ニュータウンと狭山ニュータウンを分けている陶器山、及び南大阪に生息するキノコに関するサイトです。

ウェブサイト「陶器山の自然　きのこ編」へようこそ!

以下の文献を参考に、日々撮影しているキノコの情報を掲載しています。

引用元文献

原色日本新菌類図鑑（I）（II）　保育社
北陸のきのこ図鑑　池田良作
日本のきのこ　山と渓谷社
山渓フィールドブック　きのこ　山と渓谷社
世界のきのこ図鑑　新樹社
猿の腰掛け類きのこ図鑑　神奈川キノコの会
FUNG OF SWITZERLAND（1～5）
週刊朝日百科「キノコの世界」　菌界（1～5）

最近のブログ記事

アカモミタケ
…
saburo | コメント(0)

アンブリストロマ属菌
…
saburo | コメント(0)

カニノツメ
…
saburo | コメント(0)

科目別

- アカカゴタケ科 (1)
- アセタケ科 (5)
- アナタケ科 (1)
- アミガサタケ科 (2)
- アンズタケ科 (4)
- アンブリストロマ科 (1)
- イグチ科 (35)
- イッポンシメジ科 (10)
- イッポンシメジ科　(1)
- ウラベニガサ科 (5)
- ウロコタケ科 (2)
- オウギタケ科 (1)
- オキナタケ科 (3)
- カノシタ科 (1)
- カレエダタケ科 (3)
- カワタケ科　(1)
- カンゾウタケ科 (1)
- キカイガラタケ科 (1)
- キクラゲ科 (2)

POWERED BY MOVABLE TYPE

ご視聴

ありがとうございました

あまの街道と陶器山の自然を守る会